

# 東大野球部 メールマガジン Vol.224

## ごあいさつ

秋晴れの心地よいこの季節になりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

秋季リーグ戦開幕戦となった対明治大学1回戦は昨季の覇者を相手に石元(3年・内野手・桐朋)が先制本塁打を打ち小林大(4年・副将・投手・横浜翠嵐)が好投、延長戦にもつれこみながらもあと1歩勝利には及ばず敗戦、2回戦は相手投手の前に完封負けを喫しました。先週末に行われた対慶応義塾大学戦は1回戦、2回戦ともに投手陣が踏ん張ることができず二桁失点を喫し敗戦いたしました。

勝利を挙げられなかった悔しさをバネにより一層練習に励んでおります。空き週を挟んだ次カードの対早稲田大学戦では何としても勝ち星を挙げるべく全員で取り組んでまいります。

今後とも東大野球部をどうぞよろしく願いいたします。

## 今後の日程

〈令和元年度 秋季リーグ戦〉@明治神宮野球場

9月28日 早大 10:30 明大 慶大 13:00 立大

9月29日 立大 11:00 慶大 明大 13:30 早大

10月5日 法大 11:00 明大 東大 13:30 早大

10月6日 早大 11:00 東大 明大 13:30 法大

〈秋季オープン戦〉

9月28日 13:00 vs 中央大学(A) @中大G

## 今回の特集「ラストシーズンに かける思い」

今回の特集は、「ラストシーズンにかける思い」です。ラストシーズンにかける思いを語っていただきました。

### 坂口 友洋 (4年・投手・日比谷)

いよいよラストシーズンとなり、寂しさで胸がいっぱいです。思い返せばこれまでの3年半は決して楽な道のりではありませんでしたが、共に戦う「仲間」がいたから乗り切ることができました。その仲間たちとの「キズナ」を信じて、今まで積み上げてきたことの集大成を披露出来るよう、全ての試合に全力で取り組んでいきます。



### 廣納 敬太 (4年・内野手・茨木)

4年内野手の廣納です。ラストシーズンの目標は“出し切る”ことです。リーグ戦初出場から3年が経ちました。3年前の対慶応義塾大学戦での屈辱は一度も忘れたことはありません。最上級生となった今、あのプレーの重さを身に染みて感じます。そのリベンジを果たし勝利を収めるためにも、持てる力を全て出し切り、最後まで全力で戦い抜きたいと思っております。これからも変わらぬご声援のほどよろしくお願いいたします。



### 阿部 篤生 (4年・学生コーチ・灘)

こんにちは、4年学生コーチの阿部です。

入部してから既に3年半ほどが経過しており、時の流れの速さを実感します。そして、いよいよラストシーズンです。僕が学生コーチとなってから1年以上が経ち、選手の頃にはできなかったような色々な経験をさせてもらいました。チームにどれほど貢献できているのかはわかりませんが、チームの勝利に少しでも近づくよう、あと少し頑張りたいと思います。

今後とも東大野球部への変わらぬご声援のほど、よろしく願いいたします。



### 辻村 真樹 (4年・学生コーチ・県立千葉)

2カードが終わりましたが、ここまで勝利をあげられておらず、神宮で勝つことの難しさを痛感しております。ただ、同時に攻守で良いところも多く出ており、チームの成長を強く感じます。

ここまで4季に渡り連敗が続いてしまっており、非常に悔しい思いをしてきました。なんとか、勝って後

輩にバトンを渡したいです。そのために、自分にできる形で貢献していきます。



### 山下 大志 (4年・学生コーチ・豊田西)

よく4年間はあっという間だったと先輩方が仰っていましたが、今それを身に染みて実感しています。大きな目標を持って入った1年生の頃、なかなか結果が出ずもがき苦しみ、挫折を繰り返した2、3年生時、色々な経験をさせて頂きました。4年生になり、神宮で活躍する、チームを勝利に導くといった当初の目的はもう果たせなくなってしまいましたが、最後まで懸命に闘う同期と将来性豊かな下級生の活躍のために少しでも力になれるよう残りの1ヶ月をやりきります。



## 編集後記

今回の特集はいかがでしたでしょうか。

今回は「4年生との思い出」と題して、4年生との印象に残っているエピソードを語ってもらいます。

どうぞお楽しみに！

今後とも東大野球部をよろしく願いいたします。

### お問い合わせ先

〒113-0032

東京都文京区弥生 1-1-1 東大球場

Tel&Fax 03-3811-5100

メールアドレス office@tokyo-bbc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望等ござ

いましたら上記連絡先までご連絡ください。